

関東どまんなかサミット会議

県境を越えた魅力ある圏域を目指して

◆栃木市が新たに加入

県境を接する野木町、茨城県古河市、埼玉県加須市、群馬県板倉町の2市2町により構成されていた「関東どまんなかサミット会議」に、平成28年5月27日、新たに「栃木市」が加わりました。

今後、災害時の相互応援や公共施設の相互利用、職員間の交流など、更に連携・協力を図ってまいります。

◆公共施設の相互利用

今まで、「関東どまんなかサミット」として野木町、古河市、加須市、板倉町の2市2町の公共施設が、その施設の所在する市町の住民と同一料金で相互利用ができましたが、平成28年10月1日からはそこに「栃木市の施設」が加わります。

10月から新たに加わる施設は以下のとおりです。

※既存の相互利用施設や施設の連絡先等詳細につきましては、町ホームページをご覧ください。

問政策課☎(57)4101

野木町民の方が栃木市民と同一料金で利用できる 主な栃木市の施設

□運動場・体育館・プール

- ・栃木市総合運動公園

□運動場

- ・栃木市岩舟総合運動公園
- ・大平運動公園
- ・藤岡渡良瀬運動公園
- ・栃木市つがスポーツ公園
- ・栃木市岩舟総合運動場



↑ 栃木市総合運動公園(陸上競技場)

□体育館

- ・栃木市屋内運動場
- ・栃木市勤労者体育センター
- ・栃木市大平体育館
- ・藤岡総合体育館



↑ 栃木市総合運動公園(総合体育館)

□福祉施設

- ・栃木市大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」
- ・栃木市岩舟健康福祉センター「遊楽々館」



↑ 栃木市大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」

他 40施設

【お知らせ】古河市の施設“駅前子育て広場「駅前ヤンチャ森」”についても、相互利用(古河市民と同一料金でご利用)できるようになりました。



【 サミットの歴史 ～三国サミットから関東どまんなかサミットへ～ 】

昭和63年に、生活圏が重なる野木町、旧古河市、旧総和町(現古河市)、旧北川辺町(現加須市)の1市3町で発足。渡良瀬川に架かる「三国橋」にちなみ「三国サミット会議」と命名される。地域活性化を目指し、年1回程度の首長会議を行ってきた。その後、野木町を除く各市町の合併により、野木町、古河市、加須市の2市1町体制へ。平成27年1月に群馬県板倉町を加え、2市2町体制となり、名称も「関東どまんなかサミット会議」に変更された。本年5月に栃木市を新たに加え、現在の3市2町体制となる。